

HP Operations Orchestration 10.x

Windows および Linux オペレーティングシステム

OO HP Solutions コンテンツパックバージョン1.2.3

リリースノート

ドキュメントリリース日 :2014年9月
ソフトウェアリリース日 :2014年9月



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe™ は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

本製品には、'zlib' (汎用圧縮ライブラリ) のインタフェースが含まれています。'zlib': Copyright © 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler.

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、次のWebサイトから行なうことができます。<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

または、HP Passport のログインページの **[New users - please register]** リンクをクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。

サポート

HPソフトウェアサポートオンラインWebサイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/hpsupport>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェア/パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://h20230.www2.hp.com/new_access_levels.jsp

HP Software Solutions Nowは、HPSWのソリューションと統合に関するポータルWebサイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP製品間の統合に関する詳細なリストやTILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトのURLは<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp>です。

目次

概要	5
コンテンツパックの統合	5
HP Solutions コンテンツパックのデプロイ	8
修正された不具合	9
既知の問題	10
制限	10
サードパーティの制限	11

概要

本ドキュメントでは、HP Operations Orchestration HP Solutions コンテンツパック 1.2.3 リリースの概要について説明します。マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要な情報が含まれています。

このリリースでは、次の言語がサポートされます。

- en - 英語
- fr - フランス語
- de - ドイツ語
- ja - 日本語
- es - スペイン語
- zh_CN - 簡体字中国語

HP Solutions コンテンツパック 1.2.3 は累積的なコンテンツパックです。

コンテンツパックの統合

次の表に、HP Solutions コンテンツパックがサポートする統合の一覧を示します。

統合名	バージョン
HP Application Lifecycle Management	11、11.50、11.52
HP ArcSight	6.0c、6.5c、6.5 SP1
HP Cloud OS	1、1.01、1.1
HP Continuous Delivery Automation	1.1、1.20、1.30
HP Fortify	3.50、3.80

統合名	バージョン
HP Live Network (LN) 統合	1.3.2、2.1.4、3.0.1、3.3.5、3.4
HP Load Runner	9.10、9.50、11、11.50、11.51、11.52
HP Network Automation	6.x、7.x、9.x (9.20 まで、および 9.22)
HP Network Node Manager	7.5、8.10、9.0、9.1、9.11、9.23
HP Onboard Administrator	3.31、3.71、4.01
HP OneView	1.0
HP Operations Manager for Windows	8.x、9.0
HP Operations Manager for Unix	8.x、9.0、9.10、9.11
HP Operations Manager i (BSM を含む)	9.0、9.01、9.10、9.12、9.13、9.20、9.21、9.22、9.23、9.24
HP Operations Orchestration: 10.x バージョン 9.x バージョン それより前のバージョン	10.0、10.02、10.10 9.0、9.01、9.02、9.03、9.04、9.05、9.06、9.07 7.2、7.5、7.51、7.6
HP Project and Portfolio Manager	7.5.0、9.0x、9.1x、9.21

統合名	バージョン
HP Proliant iLO	iLO - 1.94 またはそれ以上 iLO2 - 1.60 またはそれ以上 iLO3 - 1.26 またはそれ以上 iLO4 - 1.01 またはそれ以上
HP Server Automation Visualizer	該当なし
HP Sitescope	7、9.0、9.5、10.10、10.11、11.00、11.01、11.10、11.11、11.13、11.20、11.21、11.22、11.23、11.24
HP Universal CMDB	7.0、8.0、9.0、10.0、10.01、10.10
HP Virtual Connect Enterprise Manager (VCEM)	6.3、7.x

HP Solutions コンテンツパックのデプロイ

OO プラットフォームバージョン 10.00 以降は、HP Solutions コンテンツパック 1.2.3 をサポートします。ただし、HP Solutions コンテンツパック 1.2.3 は、既存の OO プラットフォームバージョン 10.10 またはそれ以降にデプロイすることを推奨します。

コンテンツパックのデプロイの詳細については、『Studio オーサリングガイド』の「コンテンツパックのプロジェクトへのインポート」と『Central ユーザーガイド』の「コンテンツパックのデプロイ」を参照してください。

注: コンテンツパックのアンインストール/ロールバックの方法については、『HP OO Central ユーザーガイド』の「前回のデプロイメントへのロールバック」を参照してください。

修正された不具合

修正された不具合の参照番号は、ALM グローバルID 番号 (QCCR) です。

修正された不具合の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

CR 番号	タイトル	説明
QCCR8C21401	SiteScope - 「Redeploy Template」オペレーションが NULL ポインター例外で失敗する	<p>SiteScope - 「/Integrations/Hewlett-Packard/SiteScope/9.x and 10.x and 11.00」の下 の「Redeploy Template」オペレーションが NULL ポ インター例外で失敗します。</p> <p>これを解決するため、「Redeploy Template」で使 用する API メソッドが置き換えられました。新しい API メソッドのために、オペレーションにオプションの 入 力 connectToServer、deleteOnUpdate、identifier を追加する必要がありました。</p>
QCCR8C22972	10.x コンテンツパックでまだ ICONCLUDE_HOME 環境変 数を使用しているコンテンツ をクリーンアップする必要があ る	<p>パスが相対パスの場合に ICONCLUDE_HOME を使 用していたコンテンツは、現在は java.home の場 所を使用しています。このパスは、フローの実行 元のアプリケーションに依存するようになりました。</p> <p>パスが相対パスの場合、次のパスを基準としま す。 studio/bin (Studio の場合) central/bin (Central の場合) ras/bin (RAS の場合)</p>

既知の問題

既知の問題の詳細については、「HP ソフトウェアサポートオンライン」を参照するか、HP サポート担当者まで直接お問い合わせください。

00200:「Get Run Status」オペレーションが実行の正しい状態を返さない

オペレーションは、状態が Canceled または Pending-Canceled の実行に対して、status=RUNNING を返します。

制限

L10N: 日本語 ALM で不具合を作成できない

ALM 統合には I18N のサポートがありません。これは、ALM 11.2 日本語バージョンでは、重大度の値が API によって認識されないからです。

「Local Traceroute」オペレーションが正しく動作せず、`java.lang.ArrayIndexOutOfBoundsException` で失敗することがある

Windows の `tracert` コマンドは、「/Operations/Network」の下にある現在の Traceroute 関連のオペレーションで予期されている形式の出力を返さないことがあります。その結果、「Request timed out」エラーが発生します。

「Library/Integrations/Hewlett-Packard/Universal CMDB/」にあるオペレーション「Add object」は、プロパティ値に "=" 記号が含まれる場合、プロパティを正しく処理しない

「/Integrations/Hewlett-Packard/Universal CMDB」の下のオペレーション「Add object」では、uCMDB に CI を作成できます。

プロパティにパスワードが含まれ、その値に等号が入っている場合 (例、`abc=123`)、00 はパスワードを "abc" と記録し、残りの文字列は無視されます。

「Run Script」コマンドでの FQDN の使用

「/Integrations/Hewlett-Packard/Network Automation/7.x and 9.x/Commands」の下の「Run Command Script」オペレーションを実行する場合、入力としては IP だけが使用できます。

00200:「Get Run Status」オペレーションが実行の正しい状態を返さない

オペレーションは、状態が Canceled または Pending-Canceled の実行に対して、status=RUNNING を返します。

サードパーティの制限

L10N:iLO3: 名前に日本語文字を含むユーザーを作成できない

「**Create user**」フローを実行して日本語文字を含むユーザー名を作成しようとすると、オペレーションは失敗し、フローは作成されません。これはサードパーティの問題です (HP iLO 3)。日本語文字を含むユーザー名の作成は、OO やその他のクライアントを通じては実行できません。

OneView: 一部の API 呼び出しが環境に対して動作しない

HP OneView Integration 1.0:「/Integrations/Hewlett-Packard/OneView/Settings/Firmware」の下での「**Get Firmware Drivers List**」オペレーションまたは「/Integrations/Hewlett-Packard/OneView/Servers/Server Hardware Types」の下での「**Get Server Hardware Types List**」オペレーションを設定する場合、Operations Orchestration でエラーが発生します。

これはサードパーティ API から生じる制限が原因です。

